

令和7年度 金沢美術工芸大学 工芸科

実技試験Ⅱ「立体表現」

問題

「手の要素」を用いて自由に立体表現をなさい。

条件

1. 「手の要素」の解釈、数、大きさ、扱いは任意とする。
2. タイトル記入用紙に解答作品のタイトル、受験番号を記入すること。
3. 使用する水粘土の量は与えられた範囲内とする。
4. 解答作品は塑像板（小）の上に置くこと。また板からはみ出さないこと。

注意

1. 解答作品は試験終了後に採点場所に移動するため、作品が倒れるなど破損がないよう留意して制作すること。
2. 募集要項に指定されている持参用具と机上に準備されている用具以外は使用しないこと。
3. 配布されたヘラは加工しないこと。
4. 水粘土の中に異物を入れないこと。
5. 用具、問題用紙、草案用紙など配布されたものを持ち帰らないこと。

配布物

水粘土、練り用粘土板（大）、塑像板（小）、塑像用具一式、霧吹き、雑巾2枚、水入れ、  
タイトル記入用紙、草案用紙5枚